



**THE ASSOCIATION FOR OVERSEAS TECHNICAL SCHOLARSHIP[AOTS]**

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534, Japan

Tel: 81-3-3888-8214 Fax: 81-3-3888-8242, 8264 E-mail: [information@aots.or.jp](mailto:information@aots.or.jp) URL: <http://www.aots.or.jp>

2010年1月

## 募集要項

品質経営研修コース

**The Program for Quality Management**

**[PQM]**

2010年5月12日～5月25日

## 1. コース開設の背景：

(財) 海外技術者研修協会 (AOTS) は、日本政府経済産業省(旧通商産業省)所管の民間技術協力機関として 1959 年に設立され、わが国の開発途上国に対する技術協力の一環として、約 170 の国・地域から約 149,000 人の技術者や経営管理者を研修生としてわが国に受け入れ、産業人材の育成に協力してきました。帰国した研修生は、それぞれの国の産業発展において重要な役割を果たしています。

AOTS は帰国後の研修生や各国の産業界のニーズ、および日系企業の人材育成ニーズに合致した研修コースを実施するとともに研修コースの開発に努めています。

品質経営研修コース (PQM) は、全開発途上国を対象として、日本企業に特徴的な経営・管理手法やその根底にある考え方を学ぶために設計されたフラグシップコースの一つで、上級管理者を対象に、品質経営を実践する能力を向上させるために企画された経営管理者研修コースです。

## 2. 対象国：

[対象国・地域一覧](#) (PDF 形式 560KB) をご確認ください。

## 3. 参加者の人数

25 名

## 4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 製品・サービスの品質向上に責任を持つ上級管理者  
\*中級管理者でも、TQM を実施するにあたり要となる立場にいるか、将来の役割を期待されている場合は対象となります。
- (2) 年齢は 25 歳以上 55 歳以下で、品質管理・品質経営の分野で 1 年以上の実務経験を有する方
- (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
- (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
- (5) 心身健康な方
- (6) 開発途上国または地域の方
- (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
- (8) 過去に本事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年 (183 日) 以内に開始されるコースに応募することはできません。

### 注意：

- (1) 日系企業からのお申し込みの参加者につきましては、職位に関わらず、該当する職務内容に従事している場合には、参加可能です。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) AOTS が発行する身元保証書の使用は、研修査証取得のためだけに限ります。例えば、参加者のビジネスなどの目的に使用することはできません。
- (5) お申込みの多いコースについては、受入企業または派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 5. 応募方法：

以下の応募書類を2010年3月8日（月）までに、AOTS本部（東京）に到着するよう提出してください。  
国内からと海外からとは、提出書類が若干異なりますので、ご注意下さい。

### （海外からの申込みの場合）

- 1) 研修申込書、研修生個人記録申告書、及び問診書（AOTS 所定様式）
- 2) 顔写真（4×3cm）2枚（裏面に名前を書いてください）
- 3) 勤務先概要を紹介する資料
- 4) IDカードコピー、パスポートコピー、自動車免許証コピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）
- 5) 事前研修レポート及び質問票
- 6) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- 7) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式）  
この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- 8) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

※上記 AOTS 所定様式は AOTS ホームページからダウンロードできます。

【英語】 <http://www.aots.or.jp/jp/use/kokunai/kaigai/moushikomi.html>

### （国内からの申込みの場合）

AOTS ホームページ内の以下の案内をご参照下さい。

[国内からの申込手続き ⇒ 申込の方法 2\) 管理研修コース](#)

※上記 AOTS 所定様式は AOTS ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <http://www.aots.or.jp/jp/documents/kokunai/index.html>

提出された応募書類は、2010年4月8日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS 本部より連絡致します。

注：応募者が締切日時点で定員の過半数に満たない場合、本コースを中止または延期する可能性があります。

## 6. 研修コースの概要：

### ■ 目的

このコースは、製品の品質やサービスを向上させて顧客満足度を高めることを目指す TQM（総合的品質管理）に関して、その概念と手法、さらに推進方法をマスターすることによって、参加者が自組織内で TQM を実践、推進できる能力の向上を図ります。

### ■ 期待される効果

- (1) TQM 活動の枠組み（歴史的背景を含めて）についての理解
- (2) 品質と管理についての基本理論の理解
- (3) 方針管理、日常管理、QC サークル、品質保証、品質改善を含む TQM 活動の主要な要素についての知識と推進方法の理解
- (4) TQM 実践成功企業の主要な成功要因の理解
- (5) TQM 推進における管理者の役割と責任への新たな洞察

### ■ 期間

2010年5月12日～5月25日 （2週間）

## ■ 内容

このカリキュラムでは、次のステップに従って、TQM を推進する能力を効果的に強化します。

コース参加者は、来日前に AOTS・WBT コース「Practical Tools for Quality Control-1」を受講して QC 七つ道具の知識を事前に復習していただきます。

### 【ステップ 1】

日本で育った TQM 活動の枠組み・特徴、TQM の文化的側面について概観します。

### 【ステップ 2】

TQM の主要な要素である方針管理と日常管理、品質保証などについて学びます。講義だけではなく、実際に日本企業の具体的事例を見学することで、TQM 導入から推進までの流れや、TQM の主要な要素をどのように現場で実践するかを理解を深めます。

### 【ステップ 3】

TQM 推進における管理者のリーダーシップについて学び、TQM の人間的側面について話し合います。コースのまとめとして、帰国後のアクションプランと自分自身の役割について発表します。

ステップ 1～3 と並行して、参加者同士によるグループ討論をおこないます。参加者は、グループ毎に、講義の重要項目を復習し、自社の現状と照らし合わせながら、各人に参考となった点について話し合います。参加者は、講義や企業訪問等を通じて学んだ TQM の導入と推進に関する管理手法や取り組み事例を参考に、自社に適応する行動計画草案を作成します。参加者は可能な限り実践的で、具体的/詳細な計画を立案します。最終日に、参加者はコース中に行った討論の結果を発表します。

注：討論をより効果的で現実的なものとするため、自社の課題に関する具体的な情報、データ等の資料をお持ちください。また、その課題については、事前研修レポートに具体的にお書き下さい。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕食後にグループ討論が行われることもあります。

日程表（予定）をご覧ください。

## ■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付きで行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

## ■ 主任講師

狩野 紀昭 博士

東京理科大学 名誉教授

(株)小松製作所 取締役

アジア・クオリティ・ネットワーク (ANQ) 名誉会長

デミング賞実施賞小委員会 主査委員

国際品質アカデミー・アカデミシャン

(財)海外技術者研修協会 (AOTS) 理事

(財)日本科学技術連盟 (JUSE) 理事

デミング賞実施賞小委員会委員長(2004 年～2007 年)

(社)日本品質管理学会会長(2000 年～2002 年)

日本の TQM 研究の重鎮。長年にわたり TQM の研究に携わり、“House of TQM”、『魅力的品質と当たり前品質』(Kano Model)など、300 編を超える著書・論文がある。特に、Kano Model の提唱者として世界的に知られている。1997 年度デミング賞本賞、1997 American Statistical Association Deming Lecturer、2002 American Society for Quality (ASQ) E. Jack Lancaster Medal、2006 ASQ E. L. Grant Medal を受賞。

安藤 之裕  
 TQMコンサルタント  
 デミング賞実施賞小委員会 主査委員  
 Asian Network for Quality (ANQ). 理事  
 (社)日本品質管理学会 理事 国際委員会委員長  
 QCサークル : 埼玉地区 名誉世話人  
 ISO/TC176国内対応委員会委員  
 早稲田大学大学院 公共経営研究科 客員教授(2004年～2005年)

TQM コンサルタントとして、製造業からサービス産業まで広範な業種にわたり、国内外の多数の企業において活躍。内 23 社がデミング賞実施賞受賞。TQM 関連の著書（共著・監修）多数。87 年、97 年日経品質管理文献賞受賞。

## ■ 研修場所と宿泊施設

AOTS 東京研修センター (TKC) (予定)  
[http://www.aots.or.jp/jp/about/center/traffic\\_tkc.html](http://www.aots.or.jp/jp/about/center/traffic_tkc.html)  
 120-8534 東京都足立区千住東 1 丁目 30-1  
 電話： 03-3888-8231 (受付) ファックス： 03-3888-0763

## 7. 申込手続きと経費：

国内から [国内からの申込手続き](#) [国内からの申込（経費）](#)

海外から [海外からの申込手続き](#) [海外からの申込（経費）](#)

## 8. 査証（V I S A）の取得について：

1. 在留資格  
 日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。
2. 査証の取得  
 A O T S 研修参加者は、A O T S が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。
3. 注意事項
  - a) 査証免除措置国・地域人の参加者も在外公館にて「研修」査証の申請をし、査証を取得することが必要です。
  - b) 既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」等「研修」以外の査証を取得している方も、A O T S が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって、改めて在外公館にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただくことが必要です。  
 その際、取得済の査証は失効しますのでご注意ください。
  - c) A P E C ・ビジネス・トラベルカード（A B T C）をお持ちの方も「A O T S 研修参加」が渡航目的でありますから、在外公館にて「研修」査証の申請をしていただくことが必要となりますのでご注意ください。
  - d) 査証についての不明点は、最寄りの在外公館にて事前に確認をしていただきますようお願いいたします。

## 9. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 財団法人海外技術者研修協会 総務部長  
 連絡先： 総務部総務グループ 電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho@aots.or.jp
- (2) 利用目的  
 ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。  
 それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。  
 尚当協会の個人情報保護方針は、<http://www.aots.or.jp/jp/privacypolicy.html>をご覧ください。

## 10. お問い合わせ：

財団法人 海外技術者研修協会 業務部受入業務グループ 招聘業務長 市浦計宏  
 住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1  
 電話：03-3888-8214 Fax：03-3888-8242 E-mail：shouhei@aots.or.jp

### AOTS 海外事務所

バンコク事務所 (AOTS Bangkok Office) 所長 貞谷 季規  
 住所：14<sup>th</sup> Fl. SSP TOWER 3, 88 Silom Rd., Suriyawong, Bangruak, Bangkok 10500  
 電話：66-2-238-5233~4, 268-0784 Fax：66-2-634-1200 E-mail：aots@loxinfo.co.th

北京事務所 (AOTS Beijing Office) 所長 田中宏幸  
 住所：100004 北京市朝陽区東三環北路 5 号 北京發展大厦 703 室  
 電話：86-10-6590-8265, 8266 FAX：86-10-6590-8267 E-mail：info@aotsbj.org.cn

ジャカルタ事務所 (AOTS Jakarta Office) 所長 鈴木裕典  
 住所：6th Floor, Summitmas I, Jl. Jend. Sudirman, Kav. 61-62, Jakarta 12190  
 電話：62-21-522-6776, 6777, Fax：62-21-522-6661 E-mail：hsuzuki@aots.or.id

クアラルンプール事務所 (AOTS Kuala Lumpur Office) \* 所長代理 Anne Chong Gaik Lin  
 住所：52A, Jalan SS 22/25, Damansara Jaya 47400, Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan  
 電話：60-3-7726-7273, 7276 Fax：60-3-7726-7269 E-mail：info@aotskl.com  
 \*クアラルンプール事務所は 2010 年 3 月 31 日に閉鎖予定です。  
 以降は、上記の AOTS 業務部受入業務グループに直接お問い合わせ下さい。

マニラ事務所 (AOTS Manila Office) 所長 吉岡治  
 住所：18F Pacific Star Building, Sen. G. Puyat Ave. cor. Makati Ave.,  
 Makati City Philippines 1200  
 電話：63-2-856-1690, 1691 Fax：63-2-856-1692 E-mail：aots@pldtdsl.net

ニューデリー事務所 (AOTS New Delhi Office) 所長 鈴木保己  
 住所：Flat No.1307, 13th Flr., Gopaldas Bhawan, 28 Barakhamba Road, New Delhi 110001  
 電話：91-11-2370-4122, 2370-4124~4125 Fax:91-11-2370-4123 E-mail: contact@aotsindia.com

ハノイ事務所 (AOTS Hanoi Office) 所長 近藤斉  
 住所：6F-04, Prime Center, 53 Quang Trung street, Hai Ba Trung District, Hanoi  
 電話：84-4-3945-4995 Fax：84-4-3945-4996 E-mail：info@aots.com.vn

## 品質経営研修コース[PQM] 日程

2010年5月12日～5月25日 AOTS 東京研修センター（予定）

	午前	午後	
5月11日 (火)	(来日)		
12日 (水)	開講式 オリエンテーション	講義：TQM 概論	グループ討論説明
13日 (木)	講義：品質理論	講義：管理・改善論 1	グループ討論（1）
14日 (金)	講義：TQM Vehicles（1）日常管理	講義：TQM Vehicles（2）方針管理	グループ討論（2）
15日 (土)	講義：管理・改善論 2	休日	グループ討論（3）
16日 (日)	休日		
17日 (月)	講義：TQM Vehicles（3）QC サークル	講義：QC サークル活動事例	グループ討論（4）
18日 (火)	企業見学：TQM 推進事例		グループ討論（5）
19日 (水)	講義：品質保証		グループ討論（6）
20日 (木)	研修旅行	企業見学：TQM 推進事例	
21日 (金)		企業見学：品質保証事例	
22日 (土)	休日		
23日 (日)	休日		
24日 (月)	講義：TQM 推進におけるトップの役割	講義：TQM の進め方	グループ討論（7）
25日 (火)	最終レポート発表	研修評価会/修了式	
26日 (水)	(帰国)		

注：1）上記の日程は講師、見学先の都合、その他諸般の事情によって変わることがあります。

2）夕食後にグループ討論が行われることがあります。

3）土曜日・日曜日は休日となりますが、必要により研修が行われることがあります。

PRE-TRAINING REPORT  
- The Program for Quality Management-  
[PQM]

Please fill in the following items by using a personal computer, or similar equipment, or by handwriting in block letters. AOTS will duplicate and distribute it to lecturers and other participants as a reference material for the group discussion and the presentations to be held during the program.

1. Your name	
2. Country	
3. Name of your company/ organization	
<p>4. Outline of your company/ organization</p> <p>(preferably by attaching a brochure of the organization)</p> <p>4-1. Year of establishment 4-2. Number of employees 4-3. Annual sales 4-4. Products/Services</p>	
<p>5. Your position and name of department</p> <p>(preferably by attaching an organizational chart indicating your position)</p>	
6. Your duties in detail	

<p>7. Present managerial activities for quality improvement in your organization</p>	
<p>8. Most critical issues* you are now facing in your quality management activities, indicating their causes from your viewpoint</p> <p>*</p> <p><b><u>a) Issues to be solved/Improved/Created etc./ What you want to realize in your organization.</u></b></p> <p>e.g.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Reduce complaints/claims</li> <li>Reduce defectives/ reworks</li> <li>Shorten new products development periods</li> <li>Reduce reworks in New product developments</li> <li>Reduce variation in a characteristics of +++</li> <li>Reduce rejects in incoming inspection/ Improve vendors' quality</li> <li>Improve training system.</li> <li>Improve on time delivery.</li> <li>Improve stability of a process.</li> <li>Activate QC Circles</li> </ul> <p><b><u>b) List of any supporting information and data related to your own issues that you will bring to this course.</u></b></p>	



Name \_\_\_\_\_

## Questionnaire

### 1. Level of Comprehension for Quality Management


Please indicate the level of your comprehension by checking the appropriate boxes.

**Level a** : You can explain what it is to others. Or you have ever applied it in your work.

**Level b** : You know what it is. Or you have ever learned it in school or by yourself.

**Level c** : You do not know it well. Or you have never heard of it.

No.	Subject	Comprehension		
		a	b	c
1	Check Sheet			
2	Histogram			
3	Cause and Effect Diagram			
4	Pareto diagram			
5	Scatter diagram			
6	Stratification			
7	Control Chart			
8	Affinity diagram			
9	Relation diagram			
10	Tree diagram			
11	Matrix diagram			
12	Arrow diagram			
13	PDPC			
14	Normal distribution			
15	Standard deviation			
16	3-Sigma rule			
17	Process capability			
18	Regression analysis			
19	Design of experiment			
20	Orthogonal array			
21	Taguchi methods			
22	Sampling inspection			
23	PDCA cycle/SDCA Cycle			
24	SOP/ Work (operation) standard			
25	Problem Solving QC Story			
26	Task Achieving QC Story			
27	Daily management			
28	Cross Functional management			
29	Policy Management ( <i>Hoshin kanri</i> )			
30	Quality table/ Quality deployment/Quality function deployment			
31	QC circle			
32	ISO 9000			

WBT	管理技術	<b>品質管理基礎コース</b>	英語	
-----	------	------------------	----	---

## ねらい

1. 品質管理の基本的な考え方を習得する。
2. QC七つ道具などの基本的な統計的品質管理手法を身に付ける。
3. 上記の習得により、製造現場における品質に関する問題解決を実践し、品質向上に貢献できる。

## 特徴

1. 章毎に事前チェックテスト、巻末に実力テストが付いているから、自分の実力が確認できます
2. 具体的な事例を用いた説明、グラフの書き方の詳細解説などの基本を学習できます。

## 内容

章	プログラム名	章	プログラム名	章	プログラム名
1章	品質管理概要	5章	グラフ	9章	ヒストグラム
2章	QC的ものの見方・考え方	6章	チェックシート	10章	散布図
3章	データの取り方	7章	パレート図	11章	管理図
4章	層別	8章	特性要因図		

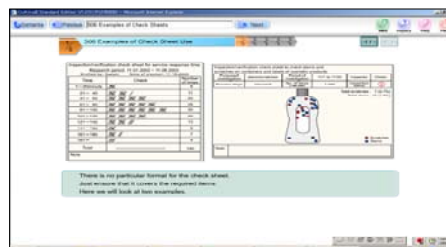
## 受講条件等

受講対象者	PQMコース参加予定者
受講期間	コース開始1ヶ月前～コース終了まで（想定学習時間30時間）
受講料	PQMコース参加費に含まれます

## ご利用方法

AOTS遠隔研修ホームページ <http://d-training.aots.or.jp>にアクセスをしていただき、メニュー画面からログインしてください。

## サンプル画面



詳しくは下記までお問合せください

**財団法人 海外技術者研修協会(AOTS) 研修部 研修開発グループ**

〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1

Tel: 03-3888-8238 Fax: 03-3888-8242

Email: [mmvtdc@aots.or.jp](mailto:mmvtdc@aots.or.jp)

<http://d-training.aots.or.jp>